

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2023年5月31日

事業所名：ココロネクラブ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースは十分に確保できている。	はいが7名、分らないが1名 ・利用される子供の人数にもよると思いますが、子供は問題なく活動できているようです。	継続して一人ひとりのスペースを確保していきます。
	2 職員の適切な配置	児童発達支援管理責任者が2023年4月1日から不在。	はいが6名、どちらともえないが1名、分らないが1名 ・子どもから、入浴介助に事務長さんが入っていただいていると聞いているので、人がたりていないのかなど。 ・子どもとの会話やリハビリ、送迎時の対応など、子供が楽しそうに話してくれます。	継続して児童発達支援管理責任者の募集をかける点と研修への参加を促します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	障害の特性に応じた設備が整備されている。	はいが4名、どちらともえないが1名、分らないが3名 ・毎回現地を見ることはないので現状はわからないが、最初に行ったときにはできていたと思う。 ・スタート前の見学以来、部屋の中を見る機会がないので。 ・トイレへストレスなくアクセスできて使用することに慣れてくると安心なのですが、本人がまだ緊張しているようです。	今後も必要な設備を整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	生活空間が確保されている。	はいが6名、どちらともえないが1名、分らないが1名 ・清潔で安心感を持ちました。	継続して管理していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎月の会議での業務改善や計画を立てて振り返りまで行えている。		職員一人一人が業務改善を進めるための目標設定や振り返りが行えるように促していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	問題が起きた際には外部機関にも連絡を取り客観的な評価をしていくように実施している。		定期的な評価を行えるような仕組みを作っていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修機会を確保している。		引き続き、研修機会を設定していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントを行い、個別支援計画を作成している。	<p>はいが7名、分らないが1名</p> <p>・会話によるコミュニケーションをとっていただけであり、子供もとても楽しく過ごさせているようです。</p> <p>・音楽(子どもの好きな曲)をBGMにしてリラックスした時間を楽しんでいるようです。リハビリはとても助かっています。</p> <p>今後も利用者様の様子や保護者の方のニーズに合わせた個別支援計画を具体的に支援内容を記載し作成し支援してまいります。</p>
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用者の状況に応じて個別活動・集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成している。	
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的な支援内容を個別支援計画に記載している。	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に沿って支援を実施しております。	<p>はいが6名、分らないが2名</p> <p>・何をして過ごしたのかわからないので。</p> <p>個別支援計画に沿って支援を今後も続けてまいります。</p> <p>毎月話し合いながら活動プログラムを立案しております。</p> <p>はいが7名、分らないが1名</p> <p>・様々な遊びやリハビリを取り入れてくれているのを連絡帳や持ち帰り作品で感じる。</p> <p>今後は年間計画を立てて、計画的に活動プログラムを立案していきます。</p>
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月話し合いながら活動プログラムを立案しております。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・休日・長期休暇に合わせたスケジュールをたてて支援を行っている。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	リハや療育活動を季節感を感じてもらえるように工夫を行って支援をしている	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼で実施している	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
)	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は送迎もあり、職員で集まることが出来ないため、朝礼で実施している。	今後も朝礼で確認をしていきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	リハビリテーション内容や看護記録は徹底できているが療育の記録が少なくなっていた。	療育や支援の内容も記載し、朝礼で共有し改善を図っていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングの実施と個別支援計画の見直しを行っている。	今年度は誕生日月に合わせて年間計画を立てて調整していきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	セルフプランが多く、支援会議は家族とのみ行っている。	今後、連携が必要な際にはご家族を通して、担当者会議の設定等も依頼していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	支援学校と連携や同施設内の医療と連携をとることが多い。	今後も支援学校や他事業所、医療機関と連携をとっていきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	ご家族を通して相談させてもらったり、情報共有をしている。	今後もご家族を通して相談していきたいと思っています。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援事業所からの移行している利用者がいない。特別支援学校とは学びの支援ネットワークプランを使用して共有してもらっている。	学びの支援ネットワークプランがもらえてない利用者もいるため、情報共有のため持ってきていただくように依頼していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	開設間もないため、移行している方はいない。	今年度移行する方に関しては事業所で支援していた内容等をまとめていけるように準備を進めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修費補助制度もあり推進できている。		今後も研修の受講を促していく。
	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	出来ていない。	どちらもえいないが3名、分からないが5名 ・重心なので難しいと思います。 ・コロナ禍のため他所との交流をすることができなかったため。	感染症対策もあり、交流が行えていなかったですが、近隣の学校等のイベントに参加することなどから交流を増やしていけたらと考えております。
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	出来ていない。		今後は交流機会を提供できるようにイベント等を企画したいと思います。
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担等は開始時に説明している。支援の内容が連絡帳や送迎時に伝えているが一部分のみになっている。	はいが5名、どちらもえいないが2名、分からないが1名 ・スタートして間がないので仕方ないと思います。	日々の支援の内容は連絡帳のみでなく、毎月の活動報告等で伝えた行けたらと考えています。
	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	直接対面で説明する機会がなく電話や文書でのお渡しになっている。	はいが5名、どちらもえいないが1名、いいが1名、分からないが1名 ・スタートして間がないので仕方ないと思います。	個別支援計画の説明する時間をとり丁寧にお伝えしていけたらと思います。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施できていない。	はいが2名、どちらもえいないが2名、いいえが1名、分からないが3名 ・スタートして間がないので仕方ないと思います。	保護者様が困ったときに頼ってもらえるような事業所・職員となるように研鑽してまいります。
	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者と共有している。	はいが6名、どちらもえいないが1名、分からないが1名 ・送迎時と連絡帳により状況理解できている。 ・スタートして間がないので仕方ないと思います。 ・送迎時に子供の状況を説明頂いています。	送迎時や連絡帳ではもちろんですが、毎月の活動報告をおこえたらと考えています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	現状ではこちらから聞くことの方が多い	はいが2名、どちらともえないが3名、いいえが1名、分からないが1名 ・スタートして間がないので仕方ないと思います。 ・今年から利用させていただいています。何かあれば相談に伺いたと思います。	保護者様が困ったときに頼ってもらえるような事業所・職員となるように研鑽してまいります。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	支援できていない。	どちらともえないが2名、いいえが2名、分からないが4名 ・コロナ禍の中今は無理と思う。 ・コロナでできなかったと思います。 ・コロナで保護者会などの集まりが無かったため	地域の交流機会がありましたら情報共有など支援を行っていきたいと思います。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応窓口をおき、対応できるように整備している	はいが6名、いいえが1名、分からないが1名 ・トラブルがあった際、公にし説明会があったので対応できていると思う。	利用者様や保護者の方から苦情やご意見をいただいた場合は、真摯に受け止め対応をさせていただきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	情報伝達が書面や口頭が多かったと思われる。写真等は撮っているが、毎月まではお渡しは出来ていなかった。	はいが5名、どちらともえないが2名、分からないが1名 ・子ども達に付きっきりでお世話をさせていただく中で時間を 作りにくいのはわかりますが、今日は何をしてきたのか知りたいです。 (子どもからはわかりません。)また、一年間のまとめのアルバムもうれしいですが、その作成時間は毎月(前月の活動)、A4一枚で良いので写真付きでお知らせ頂けると嬉しいです。掲載許可をもらわないといけませんがお友達もわかり、良いと思います。(うちはお友達の名前を言えるのでわかりますが。) ・送迎時に子供の状況を伝えていただけるので安心しています。	許可をいただいた方は写真を使った活動報告等で活動の様子を伝えていけたらと思います。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	行事予定や行事報告の発信が出来ていなかった。	はいが3名、どちらともえないが1名、いええが1名、分からないが3名 ・今まで会報は一回しか届いていないため	会報や活動報告の機会を増やしていけたらと思います。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いに注意し対応している。	はいが7名、分からないが1名 ・不安を感じていません。	個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	細かな各種マニュアルまでは周知できていなかった。	はいが1名、どちらともえないが1名、いいえが1名、分からないが5名 ・施設に行った際には、感染対策適切だと感じる。 ・いただいた記憶がないだけかもしれません。	今後、各種マニュアルを保護者様にも分かりやすく周知できるように整備してまいります。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	利用者様がいない時間帯に職員の訓練を実施していた。	どちらともえないが2名、分からないが6名 ・通所が週一のため、通所中には行われていなかったが他の日に実施されているかもしれないため	利用者様がいない時間に訓練を設定が出来ていなかったため、その時間帯にも訓練を設定し災害時に対応できるように努めてまいります。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	研修の機会を確保し実施している。		継続して実施してまいります。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	事前に説明と了承をもらい、個別支援計画に記載し定期的にカンファレンスを実施している。		継続して実施してまいります。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーに関して医師・管理栄養士と連携し対応している。		今後も連携し対応していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	共有し適宜カンファレンスをしている。		今後もインシデント・アクシデントレポートの共有とカンファレンスを実施していきます。